

## 電源開発への囲み取材

### ▽日本経済新聞

今日いらっしゃったのはどういう意味合いの説明ということか。

### ▼電源開発 浦島常務執行役員

本日伺いましたのは、新規制基準に沿って安全強化対策の検討を進めてまいりました。それが、このたびまとまりましたので、それのご説明にまいりました。

### ▽日本経済新聞

例えば函館市とちょっとコミュニケーションとりたいとか、話し合いをしたいとかという意味合いということではないのでしょうか。

### ▼電源開発 浦島常務執行役員

函館市とはですね、従来からも情報提供をさせていただいておりますし、説明をさせていただいております。今後とも情報提供、説明をさせていただくということで、その位置づけの中で今日お伺いいたした次第でございます。

### ▽HTB

それでご理解をいただけているというふうに自覚をされていますか。

### ▼電源開発 浦島常務執行役員

私どもは今日はきちんとご説明させていただいたと思っております。

### ▽HTB

納得してもらえたと。

### ▼電源開発 浦島常務執行役員

私どもはご説明できたと思っております。

### ▽UHB

今市役所の前には函館市民の方が、大間原発反対とたくさん声をあげていらっしゃいますけれど、そういったなかでご説明される今のお気持ちといいますか、そういった状況を見ていかがでしょうか。

### ▼電源開発 浦島常務執行役員

私どもはですね、大間原子力発電所を推進するにあたって、新規制基準に沿って、きちんと安全対策を検討いたしまして、それをまとめました。そして、これから申請をして原子力規制委員会で新規制基準に適合しているかどうか、ご審査いただくと。そして、それによって安全な発電所づくりにつなげると、そういう気持ちでやっております。

### ▽北海道新聞

今日は既に青森のほうで、社長が大間町で午前中に説明されたそうですが、青森に社長がいらして、午前中に説明して、こちらでは夕方に説明するという格差があるのですが、これはどういう理由なのでしょうか。

### ▼電源開発 浦島常務執行役員

本日は、大間町、佐井村、風間浦村を午前中で回りまして、午後に青森県にまいります。そちらは社長が担当しておりまして、同じ日に函館市にやはり、ご説明するのが大事だと思っております。

すので、どうしても行程的に無理でございますので、分担をしまいたと。ですから私が会社の代表でまいりました。

#### ▽北海道新聞

時間が、向こうは午前中で、こっちは夕方になっているというのはどうしてでしょうか。

#### ▼電源開発 浦島常務執行役員

これは、私が東京から来るといふ、そういう時間の関係がございます。

#### ▽北海道新聞

たまたまそうなったというだけで...

#### ▼電源開発 浦島常務執行役員

時間は函館市さんともご相談したタイミングで決めているという....

#### ▽北海道新聞

では、同じタイミングになることもあるという...

#### ▼電源開発 浦島常務執行役員

それはご相談次第で....

#### ▽北海道新聞

あるいは、函館に社長が来て、青森には常務が行くということもあるということでしょうか。

#### ▼電源開発 浦島常務執行役員

まずですね、立地町が一番中心でございますので、そこに行くというのが基本でございますので、あとはスケジュール次第になろうと思います。社長が大事だと思ったときはこれられることもあろうと思います。

#### ▽朝日新聞

函館市としては実効性のある避難計画が作れないと主張して裁判になってますけれど、そういう声がある中でこうやって進んでいくということ、それについてどのようにお考えでしょうか。

#### ▼電源開発 浦島常務執行役員

避難計画といいますが、防災計画はですね、原子力災害対策特別措置法に基づきまして、私ども事業者も、地方自治体もお作りになると。この防災計画、避難計画につきましては、国等のご支援等もあつたり、函館市さんであれば道のご支援もあつたりして、作ることになっていると思いますので、法律に沿ってしかるべきものが作られていくというふうに認識してございます。

#### ▽毎日新聞

本日、稼働の時期などを示されたわけですが、これは裁判に関係なく進めていくスケジュールがもう決まったということなのでしょうか。その理由は何なのでしょうか。

#### ▼電源開発 浦島常務執行役員

裁判とは関係なく、私どもで審査の期間を想定し、それで許可を得られたらば工事に入って、工事の工程をおおよそ詰まったので、このぐらいで工事は終了するだろうということで、その見込みをお示しさせていただいたものでございます。

#### ▽北海道新聞

今までよりだいぶ工事は増えているのですけれど、進捗状況というのは何パーセントですか。

**▼電源開発 浦島常務執行役員**

進捗状況はですね、まだ数字としては変わってございません。全体の工程が決まってですね、工事の物量とかですね、その辺の詳細が決まってこないと数字が出せないものですから、まだ変わっていないというところです。

**▽北海道新聞**

つまり、進捗状況はもっと下がるということでしょうか。

**▼電源開発 浦島常務執行役員**

これは何とも申し上げられません。数字をこれから精査してみないとわかりません。

**▽北海道新聞**

工事が増えるわけですから、進捗状況が上がるということはないですね。

**▼電源開発 浦島常務執行役員**

上がるということはないでしょうね。全体ボリュームが増えてますから。

**▽北海道新聞**

だいたい今どれぐらいなんですか。

**▼電源開発 浦島常務執行役員**

それはわかりません。

**▽函館新聞**

原子力規制委員会に年内に申請するとおっしゃっていましたが、具体的な時期は。

**▼電源開発 浦島常務執行役員**

具体的な日付は、ちょっと申し上げられませんけれど、年内には出せるように我々努力をしてみたいと思っています。

**▽北海道新聞**

年内ということは、今月内ということではなくて、12月にかかるということでしょうか。

**▼電源開発 浦島常務執行役員**

最終調整をやっているところですので、ちょっとまだ具体的な日にちまでは...

**▽北海道新聞**

11月中にあるのかどうかということも含めて。

**▼電源開発 浦島常務執行役員**

そこも、まだこれから詰めてまいりたいと思っています。